

支援プログラム（放課後等デイサービス）

事業所名 アトリエえとす
作成日 2025年 2月 21日

法人(事業所)理念		ハビリスデザインでは、「本人の意思決定」と「子どもの最善の利益」を最優先に考え、子どもから大人まで障がいの有無にかかわらず、「経験すること」を基本理念にしています。	
支援方針		アート活動を中心とした「経験」を通し、「自由な表現」と「笑顔」を、いっしょに創りましょう。 一本の線から始まるアートできないことに目をむけるのではなくどうしたら「できる」かを考え「できる」をたくさん体験して行きます。	
営業時間		11時00分 から 17時00分 まで	送迎実施の有無 あり
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 今日の天気を発表していきましょう。 食事介助の際は、スタッフが手を添えて一緒に食べる練習をします。（スプーンやコップを持つ、口へ運ぶ練習。） 自分で何口か運べた時は褒め、やる気を促します。（あまり疲れすぎないようにする。） コップから水分を摂るようにします。 排泄は座って行えるよう1回は行います。 体調を考慮して、アート活動に取り組みながら、自分のペースで過ごしましょう。 遊びに夢中になってしまうので、背中が熱かったり汗をかいていたりするのでこまめに休憩を促したり、空調や水分など調整を行い疲れすぎないように配慮していきます。 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢保持は引続き気を付けて、活動しやすい姿勢で行います。（骨盤の位置を安定させる） 肘を安定させて手で貼る、おさえる、筆を持つ等活動しやすい姿勢でアートに取り組み手や指を使います。 トイレの際は、オムツセットは自分で持ってもらいます。 カバンから荷物を出しカゴにしまします。またおやつセットを用意します。 合図を出し手を放すタイミングを支援していく。 説明をしながら、繰り返し作業をすることで、色々な体の使い方を覚えていきます。 アートを通して様々な体験をして楽しく過ごします。 素材の感触に沢山触れ、好きな感触を増やしていきます。 様々な素材や物に触れる機会を作り、様々な刺激を経験していく。 自分で動かしやすい身体の姿勢を試みながら、全身を使ってアート活動をしていきましょう。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 自己選択が出来るよう、状況説明をします。 ご本人が感覚を総合的に活用し周囲の状況把握していけるよう、見たり聞いたり「今何をしている時間」かを説明します。 少しでも周囲の状況にあった行動ができた場合は褒めます。 「集中する時間」「あそぶ時間」「話を聞く時間」等の状況にあった切り替えの練習をします。 いろいろな教材教具に触れ、感触を知り、使いやすい教具を選びます。（本人にあった教具で製作をします。） 日めくりカレンダーで日にち、曜日を教えます。 相手の気持ちがわかるように、スタッフが「今喜んでいる」「今嫌がっている」という表情や気持ちを伝え、気持ちの種類を知るところを学びます。また自分がされてどうだったか、考える時間をもちます。 	
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 教材教具に触れこれから何をするか考えたり、お友達やスタッフと触れ合いスキンシップを持ち交流を深めていきます。 昨日あったこと、食べたもの、学校の様子など話しかけて、反応を聞くようにします。 声掛けに対して自分なりの表現《手をパチパチ、顔を見る、声を出す、うなづく、手を出す等》を使っていきましょう。 お友達にタッチしたり一緒にゴロゴロして楽しい時間を作ります。 製作では、お友達と一緒に出来るよう配慮し、複数人で取り組めるようにします。 送迎の際、発語の練習を行う。50音を声に出していく。 指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援します。 	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> スタッフからの質問の内容は細かくし、本人の選択肢が広がるように支援していきます。 提示方法は見える位置、選択しやすい形で表示、3択以上。 選択方法は手を出す、触る、声を出す、首を振る、腕を組む等で「○○だね」と本人の意向を言葉で伝え確認します。 選択ができた場合は褒め、一緒に遊んだりして、選択できるという楽しい体験を積んでいきます。 日常会話の中でも選択できるようにしていきます。 出来るだけお友達と過ごせる環境設定をしていきます。 スタッフ以外のお友達との時間を増やします。 お友達と活動が出来るよう姿勢や視線に配慮していきます。 うまく気持ちを切り替えられるように環境を整えながら、成功体験を重ねて気持ちや行動が切り替えられるようにサポートします。 楽しく自由にできることは伸ばし、苦手な作業や興味が薄いことでも一緒にくり返し作業していきます。「これは得意」と思えるような体験を積んでいきます。 自分で決めたルールを守り活動に参加します。 	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 連絡ノートやTEL、LINEを活用して情報の共有をしていきます。また、送迎時に当日のご様子をお話していきます。 必要に応じて面談や見学を行います。 発達状況や支援のニーズの確認 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて学校に訪問し、行事等、普段と異なる活動の際の関わりについて、具体的な関わり方のモデルを示す。 学校の連絡と当事業所の連絡内容を相互に確認し、日々の様子を情報提供。
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> こどもが通う学校や放課後児童クラブ等との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助、放課後等デイサービス計画の作成又は見直しに関する会議の開催をします。 こどもが通う医療機関等との情報連携や調整。 虐待が疑われる場合、児童相談所やこども家庭センターとの情報連携。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 虐待防止研修 身体拘束等適正化研修 感染症対策研修（嘔吐処理） オンライン研修（サービスの専門的知識・スキルが身につく講義）月2本視聴します。 外部研修に参加しています。 職員会議の実施
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練（年2回）避難訓練、通報訓練、消火訓練、総合訓練 ※消防設備点検年2回外部委託 季節の製作 （4月大型製作、進級入学・5月こいのぼり製作、母の日・6月アジサイ製作、父の日・7月七夕製作、水遊び・8月夏祭り製作、水遊び・9月お月見製作、敬老の日・10月ハロウィン製作、紅葉・11月食べ物製作・12月クリスマス製作・1月書初め、お正月・2月節分製作、バレンタイン・3月ひな祭り製作、終業、卒業式） 学童、生活介護施設イベント交流活動 		